

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和5年5月25日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和5年6月23日（金）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

ワサビにおける種苗周年供給技術の開発と新品種の育成について 1
(農林技術研究所 伊豆農業研究センター)

◎6月の行事予定

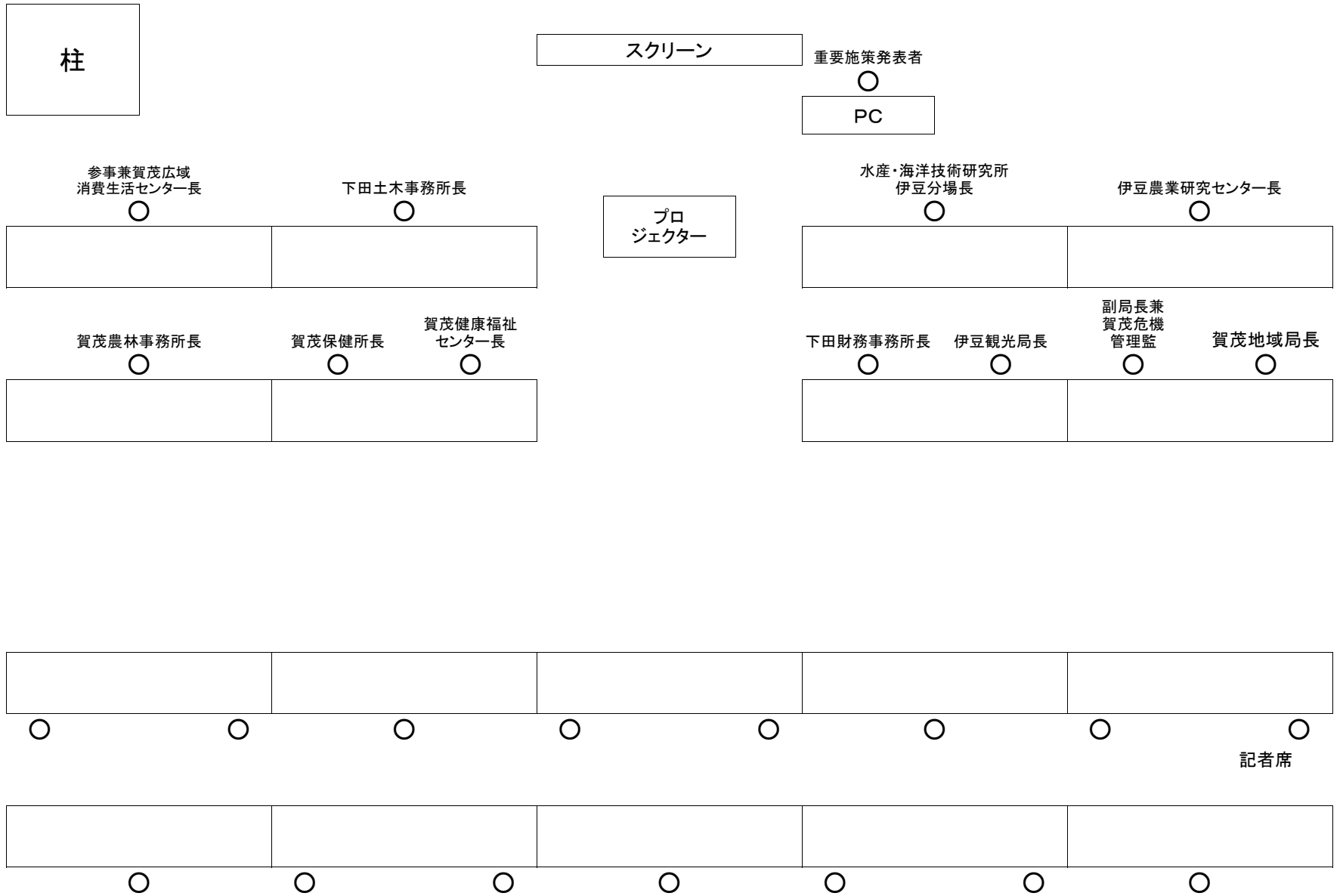
行事予定表 13
賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第28回講座 . 15
(賀茂地域局地域課)
防災講座の開催 17
(賀茂地域局危機管理課)
eL-QR (地方税統一QRコード) を利用した納税について 19
(下田財務事務所)
宿泊施設一斉監視を実施します 20
(賀茂健康福祉センター)
「ジオの恵みとわさびに触れる」体験ツアー 21
(賀茂農林事務所)
農林防災施設をパトロールします 23
(賀茂農林事務所)
令和5年のテングサ作柄について 25
(水産・海洋技術研究所 伊豆分場)
【激甚化する豪雨に備える】令和5年度 急傾斜地パトロールの実施について 26
(下田土木事務所)
すべての市町で「土砂災害・全国防災訓練」を実施します! 27
(下田土木事務所)

名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	もろた りょう 諸田 僚
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	よしかわ やすお 吉川 康夫
10	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
13	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
14	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



出入口

記者席

ワサビにおける種苗周年供給技術の開発と 新品種の育成



伊豆農業研究センターで取り組んでいる、ワサビにおける育苗技術の開発と新品種の育成について紹介する。

ワサビ

[*Eutrema japonicum* (Miq.) Koidz. ; syn *Wasabia japonica* (Miq.) Matsum.]

- ・日本原産のアブラナ科植物.
- ・静岡県では, わさび田で水を掛け流す水ワサビ栽培が盛ん.
- ・静岡県の根茎生産額は30億円で全国1位(シェア70%, R2年).

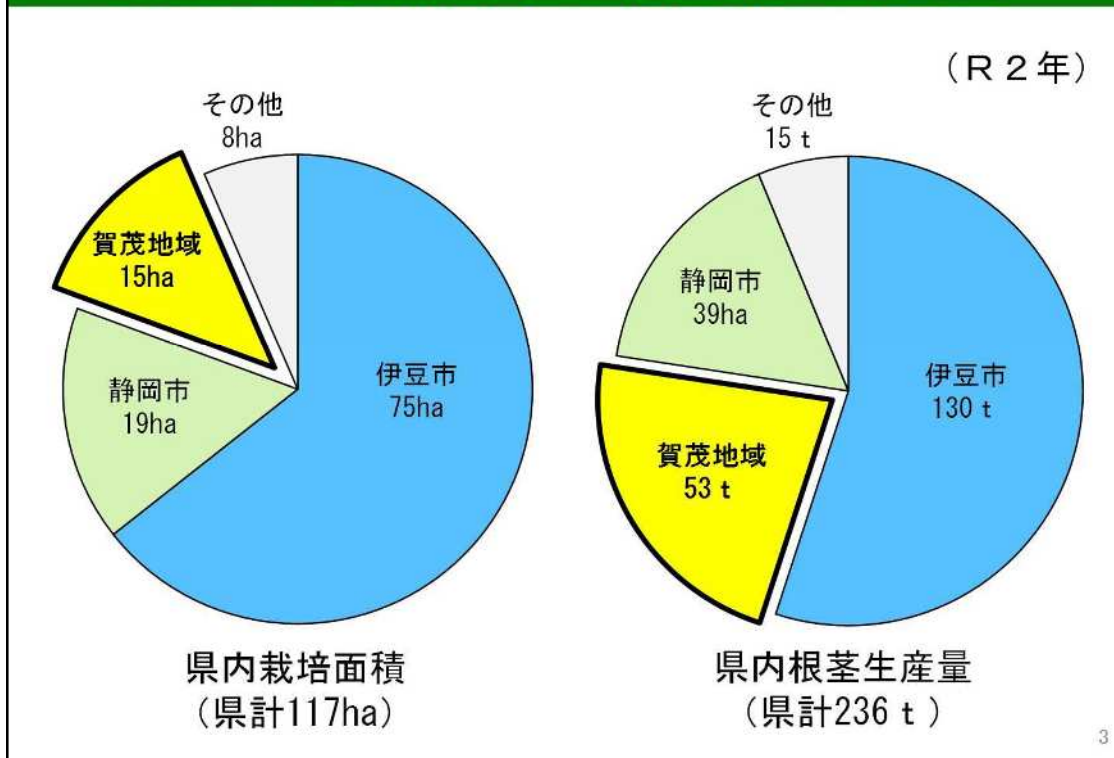


静岡県では水を掛け流す水ワサビ栽培が盛んで, すりおろして使われる根茎の生産額は全国一.

写真は収穫した水ワサビの草姿. 根茎部分は100g程度で, 株全体では数百gから2kgとなる.

根茎だけでなく, ほぼ全ての部位が食用可能で, ワサビ漬けなど様々な加工食品の原料に使われる.

水ワサビの県内栽培面積・生産量



グラフは、静岡県における水ワサビの栽培面積と根茎の生産量。

賀茂地域は、栽培面積117haのうち15ha、根茎の生産量236 tのうち53 tを占め、静岡市に並ぶ県内有数の産地。

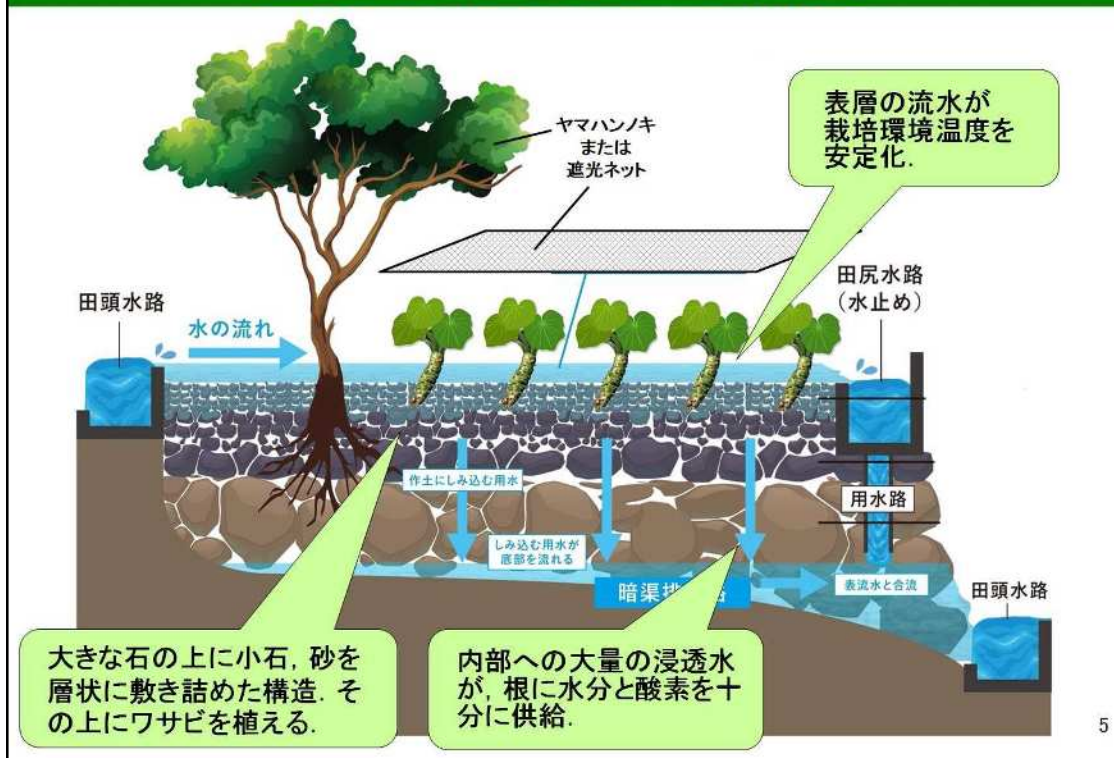
わさび田の栽培環境



水ワサビは、涼しい山あいの、きれいな水が豊富に流れる沢沿いのわさび田で栽培される。

適地は、年間の平均気温が13~15℃、夏の最高気温が28~30℃未満で、水温が12~13℃の場所。

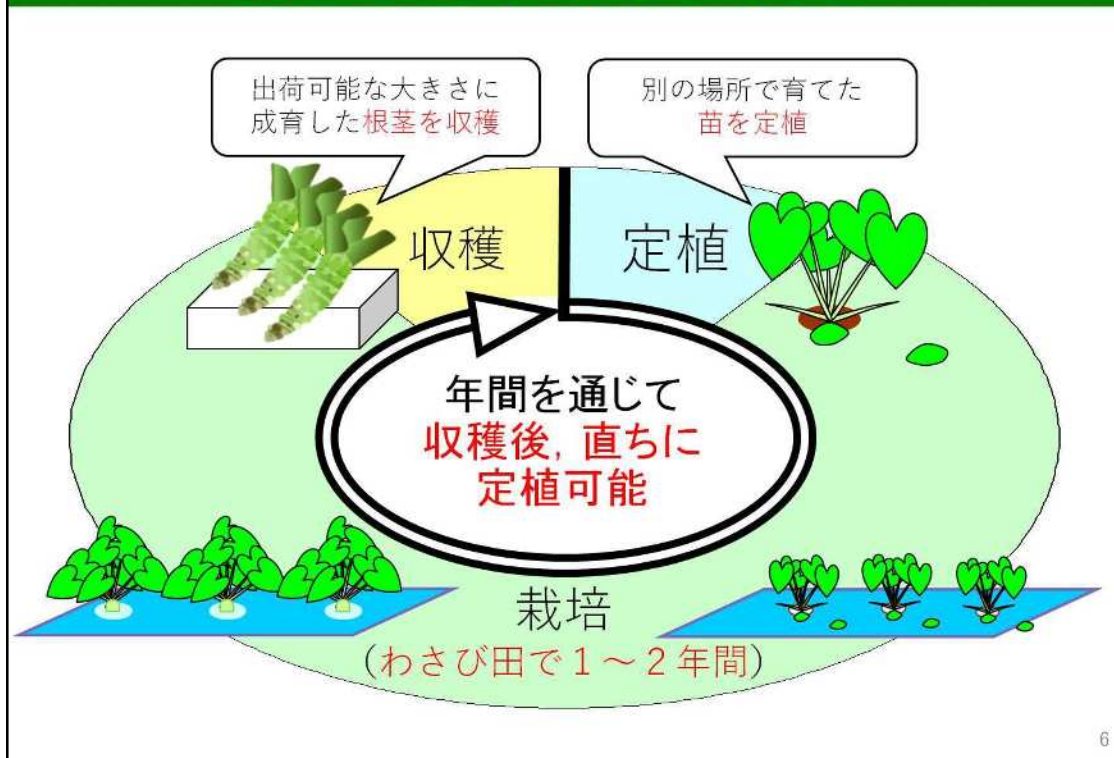
畳石式わさび田の構造



わさび田には様々な形式がある。静岡県では、「畳石式」が主流で、下から順に大きな石、小さな石、砂の層を敷き詰めた構造となっている。

表層を流れる水が栽培環境の温度を安定させ、内部に浸透した水が根に水と酸素を供給する。

水ワサビの栽培サイクル



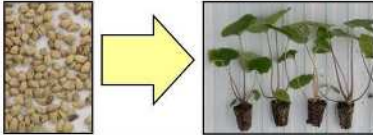
水ワサビの栽培では、別の場所で育てた苗をわさび田に定植し、1年～2年間栽培後、出荷可能な大きさに育った根茎を収穫する。

大きな特徴として、一年を通じていつでも収穫でき、直ちに苗を定植すれば次の栽培に取り掛かることができる。

水ワサビの苗の種類

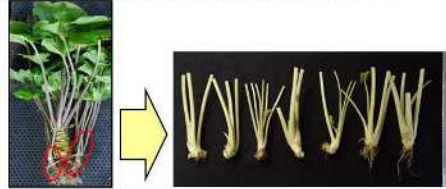
実生苗

- ・種子繁殖性品種に不可欠
- ・種子を土に播種して育苗
- ・他の苗に比べて増殖率が高い



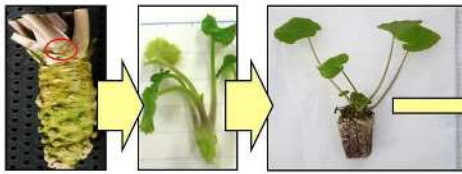
分根苗

- ・収穫時に採取した分根を利用
- ・親株の病気を引き継ぎやすい



メリクロン苗

- ・根茎の茎頂組織を培養して育成
- ・増殖率低く、コスト高



二次増殖苗

- ・メリクロン苗を土に植え、増殖した分けつ茎を利用
- ・増殖率低く、コスト高



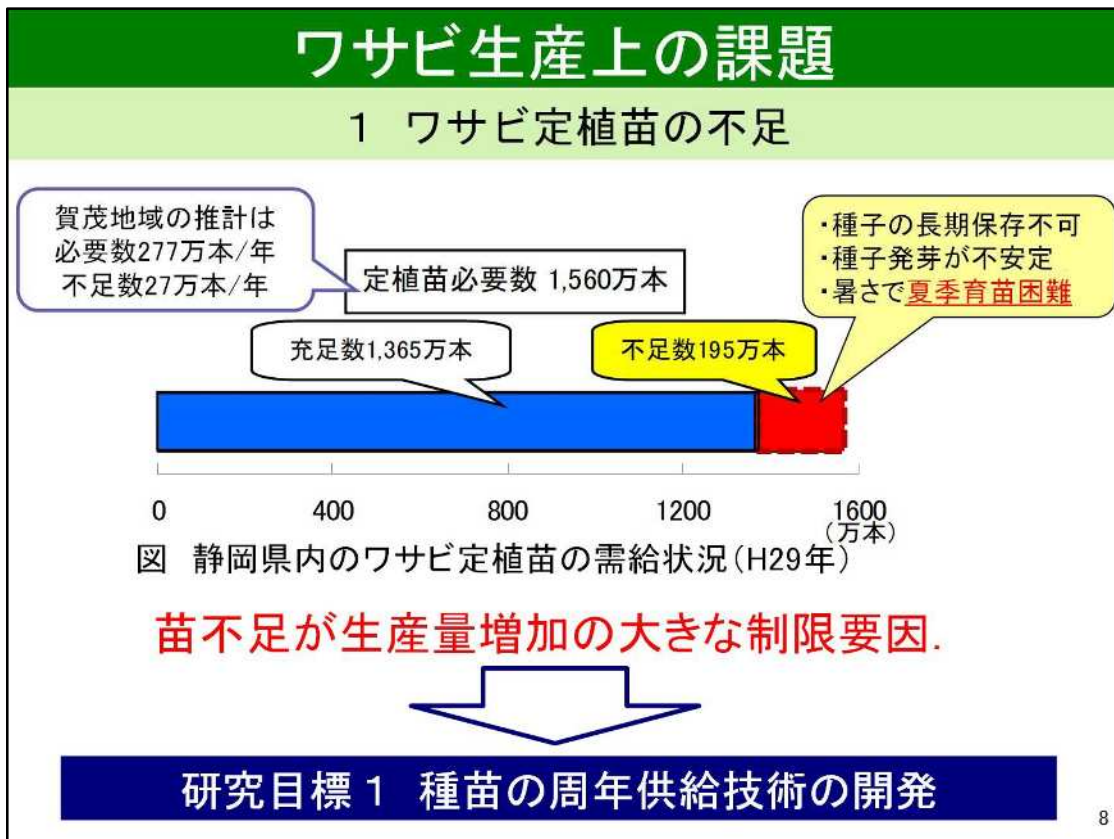
実生苗は増殖率が高く、定植苗の大量供給に最適。
賀茂地域では実生苗の利用が7割以上を占める。

7

水ワサビの定植苗には、実生苗、分根苗、メリクロン苗、二次増殖苗の4種類がある。

このうち、種子から育てる実生苗は増殖率が高いため、大量の定植苗を供給するのに適している。

賀茂地域では、わさび田に定植する苗の7割以上を、この実生苗が占めている。



ワサビは需要が高く、高い単価で売れるにも関わらず、県内の水ワサビの根茎生産量は横ばい。

この原因として、①定植苗の不足と、②栽培困難な生産性の低いわさび田の存在がある。

1つめの、定植苗の不足については県全体で必要な数は年間1560万本、このうちの1割以上、約200万本が不足し、わさび田での定植が先送りされている。賀茂地域での必要数は年間277万本、不足数は27万本と推計され、県全体と同様の傾向。

苗不足の技術的な原因は、種子の長期保存ができず、発芽が不安定なこと、暑さに弱くて夏季の育苗が難しいことであり、これらの解決による苗の周年供給が課題。

ワサビ生産上の課題

2 生産性の低い「下等田」の存在

水量豊富・環境安定
生産性高い

水量少・夏季高温
生産性低い



図 わさび田の上等田、中等田、下等田の比率



暑さに伴う
軟腐病の多発

下等田の生産性向上が課題.



研究目標 2 下等田でも生育旺盛な品種の育成

9

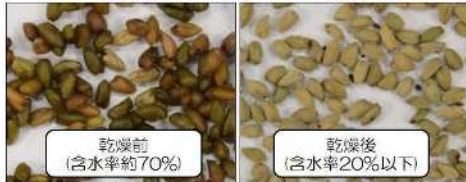
2つめの生産性の低いわさび田とは、夏の水量が少ない、水温が高いといった栽培環境の悪い下等田のことで、県内にはこの下等田が約3割あると推定されている。

ワサビの栽培期間は1年から2年間と長く、夏越しを避けるのは難しいことから、下等田でも生育旺盛な品種の育成が課題。

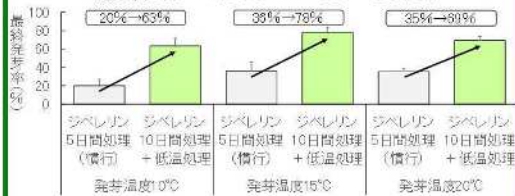
これまでの成果

1 種苗の周年供給技術の開発

乾燥種子の長期冷凍保存
(慣行1年間→3年間)



種子の発芽率向上
(慣行20~40% → 60~80%)



いつでも播種できる！

標高560m以上への山上げによる夏季育苗
(慣行 平地で枯死 → 高冷地で生育)



実生苗の長期冷蔵
(慣行2か月間 → 4か月間)



秋の苗供給が可能！

年間を通して苗の供給が可能に！

10

1つめの、苗の周年供給技術については、

従来、1年間も保存できなかった種子を、乾燥して-15℃で冷凍することで、3年間保存できるようになり、播種前の処理を工夫することで、発芽率の向上が可能となった。

これにより、年間を通じて発芽率の高い種子を苗作りに使うことができる様になった。

また、夏でも標高560m以上の高冷地なら育苗できることを明らかにし、平地で初期育苗した苗を、梅雨明け後に高冷地に山上げする「リレー育苗」を実証した。

さらに、実生苗を密封容器に入れ、湿度を高めて冷蔵することで4か月間保存できる技術を開発し、6月の苗を秋まで保存できる様にした。

これらの技術を組み合わせることで、年間を通じた苗の供給が可能になり、研究の成果は育苗マニュアルとして、苗生産者に配布し、技術移転を進めている。

これまでの成果

2 「下等田」でも生育旺盛な品種の育成

生育旺盛なワサビ品種「ふじみどり」を育成



- ・既存品種「伊づま」に比べて地上部の生育が旺盛.
- ・夏季に一時的に通水を停止したわさび田でも生存率が高い.

品種登録出願中， R 6 から栽培開始予定

11

2つめの、下等田でも生育旺盛な品種の育成について

交配する両親の組み合わせにより、親よりも優れた形質を持つ子が得られることがあり、この現象を利用して育成した品種を、一代雑種（F1「エフワン」）品種という。

この手法を利用して、世界初のワサビF1品種「ふじみどり」を育成した。

「ふじみどり」は、既存品種の「伊づま」に比べて地上部の生育が旺盛で、夏季にわざと通水を停止したわさび田での生存率が高いことから、下等田での栽培利用が期待される。

現在、品種登録出願中で、今後生産者団体と品種利用の許諾契約を結び、R 6から栽培開始の予定。

今後の展開



昇温抑制遮光ネットによる夏季育苗試験



現地わさび田で特性評価中の新規系統

1. 標高560m以下での夏季育苗技術の開発
2. 各産地の栽培環境に適応した新品種の育成

12

これまでの取り組みにより、年間を通じた苗の供給が可能となったが、高冷地での夏季育苗は標高560m以上に限られるため、より標高の低い場所でも夏の育苗ができるよう育苗技術の開発を進めている。

また、わさび田の環境は多様であるため、産地ごと、環境条件ごとに適する品種が求められている。

環境に適した品種を生み出すため、現在、生産者が保有する様々な系統を活用し、「ふじみどり」に続くF1新品種の育成をすすめている。

行事予定表（令和5年6月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	木	防災講座（南中小学校） 9:20-14:50 南中小学校			農地災害防止安全 パトロール（河津） 治山只トロール（下田） 出発式（下田総合庁舎前）	土砂災害防止月間（6/1～6/30） がけ崩れ防災週間（6/1～6/7）
2	金	防災講座（下田保育所） 10:00-11:00 下田保育所				
3	土					
4	日					土木防災・全国防災訓練 9:00～各市町会場
5	月	①防災講座（下田小学校） ②防災講座（稲生沢小学） ①10:10-11:45 下田小学校 ②13:20-14:05 稲生沢小学			治山パトロール （南伊豆、松崎）	
6	火				農地災害防止安全 パトロール（南伊豆） 治山パトロール（東伊豆、河津）	
7	水	防災講座（松崎小学校） 9:15-11:00 松崎小学校				
8	木	防災講座（浜崎小学校） 10:10-10:55 浜崎小学校				
9	金					
10	土					
11	日				「ジオの恵みとわさびに触れる」体験ツアー（松崎）	
12	月	防災講座（浜崎小学校） 9:10-11:45 浜崎小学校			治山パトロール（西伊豆）	
13	火	防災講座（仁科認定こども園） 9:30-11:00 仁科認定こども園				急傾斜地パト（下田市）
14	水					
15	木	防災講座（田子小学校） 9:55-12:35 田子小学校				急傾斜地パト（南伊豆町）
16	金	防災講座（仁科小学校） 8:30-14:30 仁科小学校				
17	土					
18	日					
19	月	防災講座（伊豆海認定こども園） 13:30-15:00 伊豆海認定こども園				
20	火	防災講座（南伊豆東中学校） 10:30-14:20 南伊豆東中学校				急傾斜地パト（南伊豆町）
21	水					
22	木	防災講座（朝日小学校） 8:30-14:10 朝日小学校				急傾斜地パト（東伊豆町）
23	金	①定例記者懇談会 ②防災講座（河津小学校） ③社会人講座 ①9:30～賀茂キャンパス ②9:20-12:00 河津小学校 ③13:30～賀茂キャンパス				
24	土					
25	日					
26	月	防災講座（稲生沢小学校） 10:30-11:15 稲生沢小学校				
27	火	防災講座（仁科認定こども園） 14:30-16:00 仁科認定こども園				急傾斜地パト（河津町）
28	水	防災講座（稲取高校） 14:20-15:10 稲取高校				
29	木	防災講座（河津小学校） 9:20-12:00 河津小学校				急傾斜地パト（松崎町）
30	金	防災講座（南上小学校） 9:20-12:00 南上小学校				

行事予定表（令和5年6月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	木					
2	金					
3	土					
4	日					
5	月			13:30～15:00 特別法律相談		
6	火					
7	水					
8	木					
9	金					
10	土					
11	日					
12	月					
13	火					
14	水					
15	木					
16	金					
17	土					
18	日					
19	月			13:30～15:00 特別法律相談		
20	火					
21	水					
22	木					
23	金					
24	土					
25	日					
26	月					
27	火					
28	水					
29	木					
30	金					

令和5年5月25日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第28回講座


(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第28回講座を令和5年6月23日(金)に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定(単発の参加可)

(概要)

日時	第28回 令和5年6月23日(金) 13:30~15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院 八木 健祥 経営情報イノベーション研究科長 兼ツーリズム研究センター長 演題：『人はなぜ温泉に行くのか(その2)』
対象	県民(定員48人)
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上、お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

担当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2204

賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター
協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

2023年 第28回

6月23日(金) 13:30～15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

人はなぜ温泉に行くのか(その2)

講師：八木 健祥

静岡県立大学経営情報学部教授

1981年4月 日本銀行入行

2008年6月 日本銀行静岡支店次長

2019年4月 静岡県立大学教授

2020年4月 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科
ツーリズム研究センター長

【専門分野】観光政策、交通経済論

【講話要旨】

2023年度は「温泉シリーズ」の第2回講話です。今回は、温泉
宿泊旅行動機や温泉旅行における満足度要因等についてアンケート
結果をもとに分析、考察したいと思います。あわせて、首都圏在住者か
らの満足度が高い温泉地についてその背景を实地調査をもとに解説し
ます。



働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属
ツーリズム研究センター

Mail: trc@u-shizuoka-ken.ac.jp

FAX : 054-264-5476



定例記者懇談会資料

防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
6月1日(木) 9:20~14:50	南中小学校 (南伊豆町)	全校	かるた、サバイバル、ICT、イメトレ	
6月2日(金) 10:00~11:00	下田保育所 (下田市)	4・5歳児 (3歳児)	地震体験 講話	
6月5日(月) 10:10~11:45	下田小学校 (下田市)	4年生	イメトレ	
6月5日(月) 13:20~14:05	稲生沢小学校 (下田市)	5年生	ICT	
6月7日(水) 9:15~11:00	松崎小学校 (松崎町)	4年生	ICT 地震体験	
6月8日(木) 10:10~10:55	浜崎小学校 (下田市)	4年生	講話	
6月12日(月) 9:10~11:45	浜崎小学校 (下田市)	全校	避難所運営	
6月13日(火) 9:30~11:00	仁科認定こども園 (西伊豆町)	3~5歳児	地震体験 防災ダック	
6月15日(木) 9:55~12:35	田子小学校 (西伊豆町)	全校	地震体験、訓練視察、ICT	
6月16日(金) 8:30~14:30	仁科小学校 (西伊豆町)	全校	かるた、サバイバル、ICT、イメトレ、地震体験	
6月19日(月) 13:30~15:00	伊豆海認定こども園 (西伊豆町)	職員	HUG	
6月20日(火) 10:30~14:20	南伊豆東中学校 (南伊豆町)	全校	意識・啓発 DIG	
6月22日(木) 8:30~14:10	朝日小学校 (下田市)	全校	かるた、防災ダック、サバイバル、講話、ICT、災判ゲーム	
6月23日(金) 9:20~12:00	河津小学校 (河津町)	1・5年生	イメトレ 防災ダック	
6月26日(月) 10:30~11:15	稲生沢小学校 (下田市)	5年生	イメトレ	

6月27日(火) 14:30~16:00	仁科認定こども園 (西伊豆町)	職員	クロスロード	
6月28日(水) 14:20~15:10	稲取高等学校 (東伊豆町)	全校	災判ゲーム	
6月29日(木) 9:20~12:00	河津小学校 (河津町)	2・4年	かるた サバイバル	
6月30日(金) 9:20~12:00	南上小学校 (南伊豆町)	全校	風水害講座	

(計 19回)

(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木

連絡先：0558-24-2004

eL-QR（地方税統一 QR コード）を利用した納税について

（所属）下田財務事務所

（要旨）

令和5年4月から、地方税の納付書に全国统一規格の eL-QR(地方税統一 QR コード)を印字する取扱いが開始されました。

この eL-QR を使用することで、クレジットカード、インターネットバンキング、口座振替（ダイレクト方式、期日指定可能）、ペイジー番号発行、スマートフォン決済アプリなどの様々な支払方法が選択できるほか、全国の金融機関等窓口で納税することができます。

（概要）

1 利用対象税目

静岡県税の全ての税目

2 利用可能な納付書

eL-QR（地方税統一 QR コード）及び eL 番号（納付番号）が印字された納付書

3 利用可能な納税方法

① クレジットカード

24 時間利用可能。別途システム利用料の負担が必要。

② インターネットバンキング

③ ダイレクト方式（口座振替）

事前に e L T A X の利用者登録と口座情報登録の手続きが必要。

④ ペイジー番号を発行し A T M 等で支払い

⑤ スマートフォン決済アプリ

対応アプリ a u P A Y、ファミペイ、P a y P a y、d 払い、楽天ペイ他

⑥ 金融機関等

今までは静岡県の指定金融機関のみであったが、eL-QR に対応する全国の金融機関で納付できます。

※②～④は e L T A X 利用時間内（通常土日を除く 8:30～24:00、月により休日運用や時間延長有）に限り利用可能

※詳細は、地方税お支払いサイト <https://www.payment.eltax.lta.go.jp> へ

担 当：管理課

連絡先：0558-24-2012

宿泊施設一斉監視を実施します

(賀茂健康福祉センター)

夏休みの行楽シーズンに向けて、旅館及び簡易宿所における食品の衛生的な取扱いについて一斉監視指導を実施し、食中毒の発生防止及び食品衛生意識の向上を図るとともに、食品衛生法の改正により、原則すべての食品事業者に対して制度化された「HACCP（※）に沿った衛生管理」の実施状況を確認します。

(※HACCP : Hazard Analysis and Critical Control Point)

記

- 1 期間 令和5年5月25日(木)から
- 2 場所 下田市、東伊豆町、松崎町及び西伊豆町
- 3 内容 (1) 対象業種・施設数
旅館、簡易宿所等の調理室 (374施設)
(2) 指導内容
旅館、簡易宿所等での食品の衛生的な取扱い、HACCPに沿った衛生管理の実施状況監視
(3) 実施担当者
静岡県賀茂保健所 衛生薬務課 (食品衛生監視員) 5人
東部保健所 食品衛生監視専門班 (食品衛生監視員) 2人
(4) その他
監視指導に際しては、パンフレット等を配付して食中毒防の発生防止の徹底を図ります。
- 4 その他 取材を希望される報道機関につきましては、次により対応願います。
 - ・集合日時 6月2日(金) 午前10時
 - ・集合場所 施設名 民宿 太郎
所在地 賀茂郡松崎町雲見430-1

担 当 衛生薬務課
連絡先 0558-24-2054

令和5年5月25日

定例記者懇談会資料

「ジオの恵みとわさびに触れる」体験ツアー

(賀茂農林事務所)

(目的)

平成30年3月に「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に認定されたことに加え、平成30年4月に伊豆半島がユネスコ世界ジオパークに認定されたことにより、わさび田、ジオが新たな観光資源として期待されている。

松崎町池代地区はジオサイトとして非常に貴重な地域であることから、松崎町山葵生産組合、伊豆半島ジオガイド協会、株式会社伊豆バスと連携し、わさびとジオを組み合わせたツアー造成の取組を行っている。

下記のとおり、6月に「ジオの恵みとわさびに触れる」体験ツアーの開催を予定している。

(概要)

開催日時 令和5年6月11日(日) 午前10時00分から午後1時50分まで

会場 松崎町池代地区

内容 ・ジオ探索(伊豆半島ジオガイド協会によるジオガイド)
・わさび収穫体験(収穫体験したわさびはお土産)
・試食(わさびをすりおろしておにぎりにつけて試食)

ツアーコース：池代活性会館集合===ジオ探索(白土洞、割岩)===わさび収穫体験
===試食===池代活性会館解散

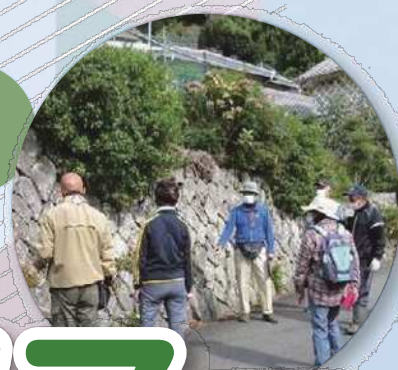
旅行代金 7,800円(わさび収穫体験あり)(最大6組)
4,800円(わさび収穫体験なし)

申込先 株式会社伊豆バス

担当：地域振興課
連絡先：0558-24-2079

ユネスコ世界ジオパーク × 静岡水わさび伝統栽培

選べる体験内容です!!



初夏の わさびジオツアー



① わさび収穫体験

② ジオツアー 収穫見学 ※体験無し

日時 令和5年6月11日(日) 小雨催行 ※天候不良による中止の場合は前日の午後決定

集合場所 松崎町池代活性会館 (駐車場あり)

コース 活性会館 ▶ 白土洞横 ▶ 割れ岩 ▶ わさび田 ▶ 活性会館
10:00発 (収穫体験・試食) 14:00着

旅行代金 ① 7,800円 → 6,240円 (全国旅行支援適用)
代金に含まれるもの わさび収穫体験・試食・ジオガイド料

② 4,800円 → 3,840円 (全国旅行支援適用)
代金に含まれるもの わさび試食・ジオガイド料

申込先 (株)伊豆バス旅行部

TEL 0558-43-2015

FAX 0558-43-2025 MAIL tour-izubus@mail.wbs.ne.jp

主催・協力

松崎町池代地区の皆様 伊豆半島ジオガイド協会 賀茂農林事務所

旅行実施

(株)伊豆バス 旅行部 静岡県賀茂郡松崎町道部60-2

静岡県知事登録旅行業 第3-640号 国内旅行業務取扱管理者 一瀬 英樹

令和5年5月25日

定例記者懇談会資料

農林防災施設をパトロールします

(賀茂農林事務所)

(目的)

近年頻発する集中豪雨や台風等に備え、農林防災施設の機能点検等を実施し、災害の未然防止を図ります。

(概要)

梅雨期を控え、農林防災施設の点検とその周辺状況の調査を行う「農地災害防止安全パトロール」及び「治山パトロール」(以下、「パトロール」という。)を下記のとおり実施します。

記

1 出発式

- (1) 日 時 令和5年6月1日(木) 午前8時45分から午前9時まで
- (2) 場 所 県下田総合庁舎正面玄関
- (3) 出席者 賀茂農林事務所長、パトロール実施者等

2 パトロール

- (1) 期 間 令和5年6月1日(木)から15日(木)まで
※ 実施日は、別紙のとおり
- (2) 場 所 賀茂農林事務所管内各所
- (3) 実施者 賀茂農林事務所職員、関係市町職員
- (4) 内 容

ア 人家、公共施設等に近接する農林防災施設の異常の有無の確認
イ 農地・山地・海岸の異常の有無の確認

(農地災害防止安全パトロール)	担 当	農村整備課農村計画班
	連絡先	0558-24-2080
(治山パトロール)	担 当	治山課治山班
	連絡先	0558-24-2084

(別紙)

1 パトロール日程

(1) 農地災害防止安全パトロール (農地地すべり防止施設等を点検)

実施日	市町名	地区名	実施内容
6月1日(木) ※6月5日(月)	河津町	(午前) 見高	施設点検
6月6日(火) ※6月9日(金)	南伊豆町	(午前) 伊浜 (午後) 吉田	施設点検

※予備日

(2) 治山パトロール (治山施設及び施設周辺の状況等を点検)

実施日	市町名	地区名	実施内容
6月1日(木) ※6月2日(金)	下田市(午前)	蓮台寺・高馬 ほか	施設・保安林点検
6月5日(月) ※6月14日(水)	南伊豆町(午前)	青野 ほか	施設・保安林点検
	松崎町(午後)	小杉原 ほか	
6月6日(火) ※6月7日(水)	東伊豆町(午前)	白田 ほか	施設・保安林点検
	河津町(午後)	大鍋 ほか	施設・保安林点検
6月12日(月) ※6月13日(火)	西伊豆町(午前)	月原 ほか	施設・保安林点検

※予備日

2 パトロール実施時間

午前9時から午後4時30分まで

3 その他

(1) 出発式、パトロールについて取材を希望される場合は、農村整備課又は治山課までご連絡ください。

(2) 実施日が雨天の場合は、予備日に延期します。

令和5年5月25日

定例記者懇談会資料

令和5年のテングサ作柄について

(水産・海洋技術研究所 伊豆分場)

水産・海洋技術研究所伊豆分場は、令和5年のテングサ作柄の予察をするために3月上旬から4月下旬にかけてテングサの生育状況を調査しました。

(概要)

1 テングサの生産状況

令和4年のテングサ生産量は全国で331t、その内静岡県は40tで全国3位^{*1}でした。県内のテングサ漁業は伊豆地域のみで行われており、主産地は西伊豆町仁科、伊豆市土肥^{*2}等です。

伊豆地域のテングサ漁業は、従事者の高齢化による労働力不足、漁業利用低下による漁場の荒廃(雑藻の増加)、黒潮大蛇行による水温上昇等の影響により減産傾向が継続しています。

※1 令和4年生産量(県別): 千葉142t 愛媛66t 静岡40t (全国331t)

※2 令和4年生産量(県内): 仁科13t 土肥(小下田)7t 土肥(八木沢)7t

2 作柄予察

テングサ生育状況調査は、伊豆半島沿岸、東伊豆町稲取から伊豆市土肥にかけて12地区、39地点において潜水作業で行いました。テングサの着生面積、密度を目視で観察し、漁場内に置いた1㎡の枠内のテングサを刈り取り(写真)、重量と藻長を測定しました。

調査結果から、令和5年のテングサの生産量は、地区により増減が見られるものの、県全体としては前年並みと予察しました。

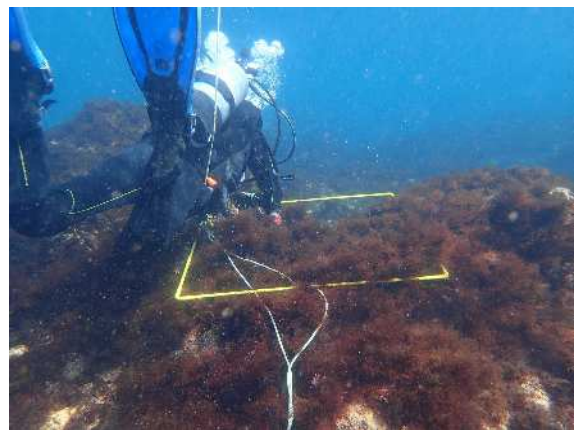


写真 テングサ作柄調査の様子

担当: 水産・海洋技術研究所伊豆分場
角田 充弘

連絡先: 0558-22-0835

【激甚化する豪雨に備える】令和5年度 急傾斜地パトロールの実施について

(下田土木事務所)

(要旨)

「土砂災害防止月間」(6月1日～6月30日)及び「がけ崩れ防災週間」(6月1日～6月7日)に併せて、「急傾斜地パトロール」を関係市町職員等とともに実施する。なお、今年度も昨年度と同様に、点検の効率化・高度化を図るため、「ドローン」を状況に応じて活用し、点検を行う。

(目的)

急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第3条による急傾斜地崩壊危険区域について、災害防止のために区域内に設置した崩壊防止施設の機能状況を点検するとともに、周囲の状況を把握し、人命・財産の安全確保を図る。

(概要)

1 実施日

下田市	令和5年	6月	13日	(火)
南伊豆町	令和5年	6月	15日	(木)、6月20日(火)
東伊豆町	令和5年	6月	22日	(木)
河津町	令和5年	6月	27日	(火)
松崎町	令和5年	6月	29日	(木)
西伊豆町	令和5年	7月	4日	(火)

(悪天候等の場合は、日程変更あり)

2 実施内容

主に次の事項について調査を行う(管内6市町 84箇所)

- ①崩壊防止施設の異常の有無
- ②がけ面の崩壊、クラックの有無
- ③水路の埋塞等の状況変化の調査
- ④住民からの情報聴取及び制限行為等の調査

3 参加者

県下田土木事務所職員、地元警察署員、関係市町職員、地元区長等

4 その他

取材対応については、以下のとおり原則パトロール初日*に行う。

日 時：6月13日(火) 9時30分

集合場所：下田市須崎港漁民会館前(下田市須崎1799)

当日の流れ：午前9時30分：参加者への説明

午前10時10分：パトロール実施

*その他の日程についても、事前(実施日から一週間前までを目安)に連絡があれば個別に対応する。

担当：維持管理課管理班

連絡先：0558-24-2108



すべての市町で「土砂災害・全国防災訓練」を実施します！



～下田土木事務所管内における訓練を紹介～

(賀茂地域局危機管理課)

(下田土木事務所)

1 要旨

近年、台風や大雨等の増加により土砂災害が頻発化・激甚化しています。記憶に新しいところでは、昨年発生した台風8号により、松崎町雲見地区では、太田川上流で発生した土石流が河川を閉塞させ、民宿など約30軒で床上・床下浸水が発生し、またがけ崩れにより民家が全壊する等の甚大な被害が発生しました。幸い人的被害は無かったものの、静岡県内では、台風15号により発生した土砂災害で人的被害が発生する等、被害が急増しています。

そこで、「土砂災害・全国防災訓練」として、土砂災害警戒区域等における住民参加による実践的な訓練を行い、土砂災害に対する避難体制の強化を図るとともに、自助・公助だけでなく共助により地域一体となって防災意識を高めます。

2 実施日

令和5年6月4日（日）9時～（2～3時間で終了予定）

3 実施場所

下田市	加増野地区
東伊豆町	白田区
河津町	梨本区
南伊豆町	調整中
松崎町	大沢区
西伊豆町	一色区

※会場は調整中

4 実施内容

- ①区役員及び住民が一体となった実働避難訓練
- ②県職員による土砂災害防止講習会

5 参加者

県下田土木事務所職員、関係市町職員、各区役員、各区住民等

6 その他

取材対応については、事前（5月31日を目安）に連絡があれば個別に対応します。なお、当日でも取材対応は行います。

担 当： 企画検査課企画班

連絡先： 0558-24-2112